

東公民館

ビデオを
楽しむ

東古泉 早瀬 辰郎

東公民館で開催されていたビデオ教室が、この3月で3年間の講座を終えた。後期の2年間は、地元の加藤博徳さんを講師にお迎えして研修が行われた。加藤さんは現職の身で月3回の講座で大変忙しかったであろう。また、プロにも匹敵する深い経験と技量を持っておられ、実践を主としたご指導に深く感謝し、お礼を申しあげたい。

▼ “内子町の町並み” 撮影会



▼ “めだかの学校” 撮影風景



▼ “バルーンで遊ぼう” 撮影風景



会、地域の行事や催物の撮影に参加など多岐にわたった。講習の中心は、各自がビデオ撮りした映像を簡単に編集し、教室で発表・鑑賞して、その小作品をもとにして、撮影の仕方、撮影された素材の扱い方、音入れ、映像に対してBGMが適当か、特に、ラストシーンの画と曲の終わり方などを話し合い、細かく指導を受けた。また、舞台・発表会の撮影技術カメラの位置・音声のとり方を教示してもらった。

3月15日(土)、東公民館での「バルーンで遊ぼう」が教室としての最終ビデオ撮りであったが、子どもたちの生き生きとした楽しそうな姿をカメラに収めることができた。その会場で一人のお母さんが、わが子の姿をビデオカメラで追っていた。最近は各種イベントなどでカメラを構えている姿を多く見かけるようになった。最近のカメラはよく写るが、私もよくスイッチを切り忘れて地面を撮るなど、不用撮りをしたりする。誰にもよく見てもらうには、少なくとも編集が必要である。ごく簡単な編集もあるから手かけてみてはどうだろうか。

受講生に、素晴らしい鳥の生態のビデオ作品を作られる方がいる。撮影技術も優れているが、多くの素材を編集する技術にも優れているからよい作品も生まれるのである。東公民館で、今年からビデオサークルを、第2・4金曜日の夜に計画しています。ビデオを楽しむ方、参加してみませんか。

ほんとうにささいな4歳児のかかわりが、幼稚園という世界を3歳児に教えてくれたように思います。園庭にある草木、遊具、教室にある積木やおもちゃ、机、椅子、どれも入園してきた子にとっては、はじめてのもですが、互いに見たり、一緒にすることによって、その子なりに、一つ一つ大好きなものを見つけていくのだと思います。こうして心をつなぎ、仲間と共に育ち合う50年間があるのだと思います。

保育シリーズ

大好きをいっぱいみつけて

心をつなぎ共に育ち合う保育をめざして

松前幼稚園教諭 吉岡 友美

4月、松前幼稚園は、第50回の入園式を迎えました。「私も卒園児です。」というお母さん、おばあちゃんまでいて、50年という歴史を感じました。教師の中にも(私も含め)3名卒園児ということ、自分を育ててくれた幼稚園で、教師として子どもたちとの生活を楽しくしています。

も手にいっぱいになりました。私が「手にいっぱいになってたいへんだあ。」と言うと、泣いていた3歳児が「いいんよね。」と笑顔をみせてくれました。ふと考えると、花を渡して登園をむずがっていた子で、泣いていた3歳児は、笑顔でお母さんのお迎えを待ちました。4歳児がくれたお花を大切に持っていたので、お迎えの時、母親にそのことを話して、お花を持って帰ってもらいました。